

北海道立北方民族博物館第30回特別展

森と川の精霊とともに

ロシア・アムール地方のアート&クラフト

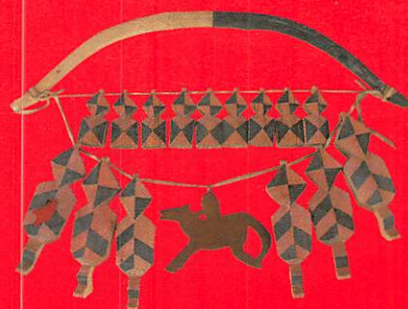
2015.7.18 (土)
≫10.25 (日)

開館時間 9:00-17:00 (10月9:30-16:30)

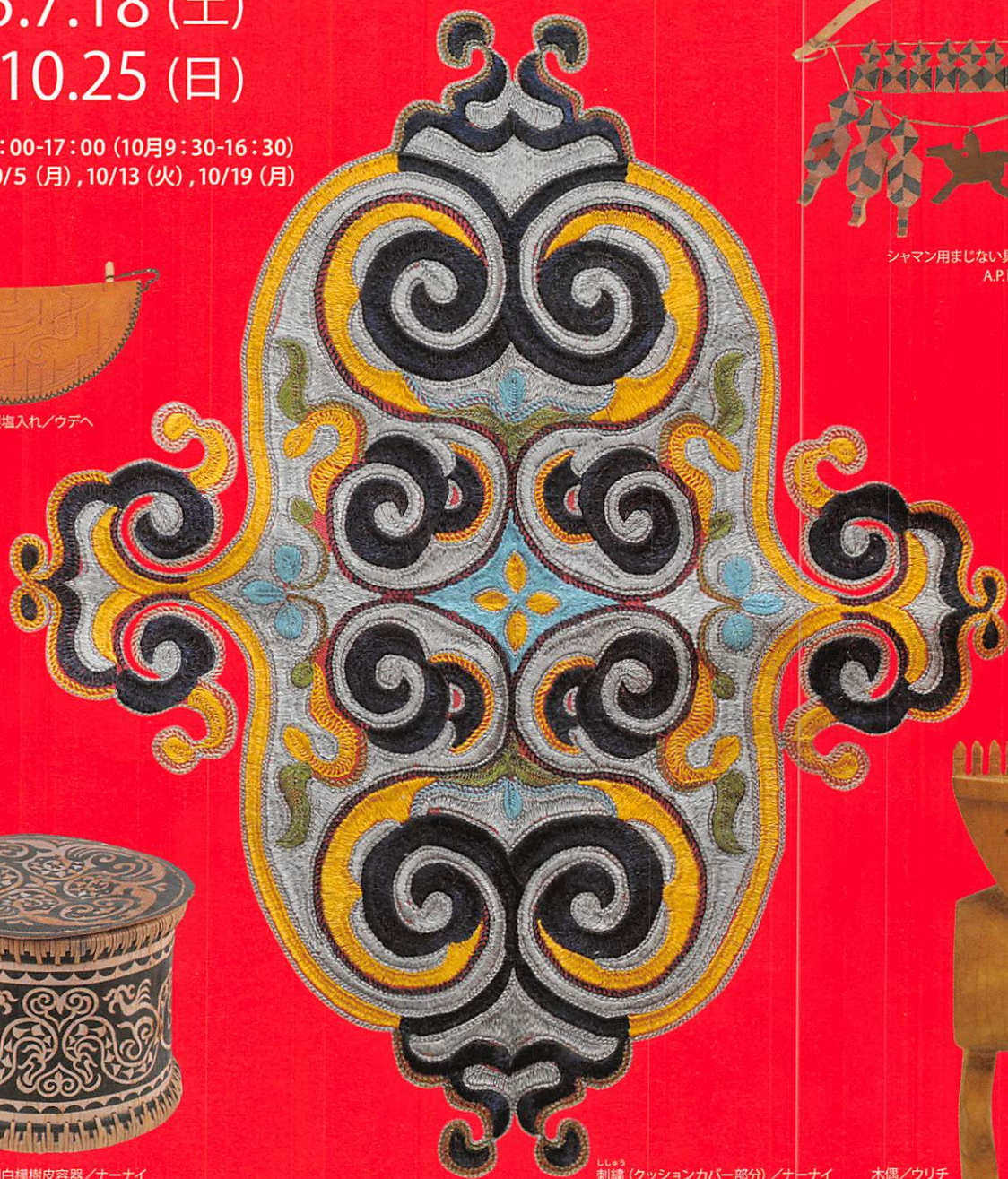
休館日 10/5 (月), 10/13 (火), 10/19 (月)



白樺樹皮製塩入れ/ウデヘ



シャマン用まじない具/ナーナイ
A.P.ドンカーン作



ししゅう
刺繍 (クッションカバー部分) /ナーナイ
Y.D.サマール作



結婚式用白樺樹皮容器/ナーナイ
R.G.バラノバ作



木偶/ウリチ
N.N.ウー作

特別展のみ 一般450 (300) 円 65歳以上300円 高校・大学生200 (160) 円
常設展+特別展 一般800 (740) 円 65歳以上300円 高校・大学生320円
※小中学生、学校行事の高校生は無料です。()内は10名以上の団体料金

主催 北海道立北方民族博物館

(指定管理者: 一般財団法人北方文化振興協会)

協力 風間伸次郎氏、佐々木史郎氏、津曲敏郎氏、
青柳文吉氏、小野寺マリレイ氏、A.P.ドンカーン氏



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1

(天都山・道立オホーツク公園)

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

<http://hoppohm.org>

◆施設設置者 北海道教育委員会 連絡先 (北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表電話011-231-4111)



布刺繍＜小さなクマが彼の世界に＞
ナーナイ／E. キレ作

アムール川は、ロシアと中国の国境をなし、オホーツク海にそそぐ、長さ約 4400km、流域面積約 18,500km² にもなる大河です。その水系は複雑に流れる支流や湖沼をもち、豊かな流量と栄養分は、さまざまな動植物を育んでもきました。

本特別展は、アムール川の中下流域にあたる、ロシアのハバロフスク地方南部から沿海地方にかけての地域を対象としています。

この地域ではナーナイ、ウデヘ、ウリチ等のツングース諸民族とニブフが生活のための道具を作りながら暮らしてきました。こうした道具類は、手近な動植物や鉱物を材料にして、機能にそった洗練された形やデザインをもっています。

さらに、森や川には精霊が住むとし、シャマニズムを信奉する心は、木偶やまじない具など独特な儀礼具をうみだしました。

近隣との交流や、中国から日本への交易ルート上にあったことから、文化要素には異文化の影響をみることもできます。ロシア人は17世紀以降、この地に来るようになりました。

近年では、生活の道具というよりも、アートの部分がより強調された作品も作られています。

本特別展では北方民族博物館の所蔵資料のなかから、アムール地方に暮らすナーナイ、ウリチ、ウデヘの芸術と工芸を紹介します。

森と川の精霊とともに

ロシア・アムール地方のアート&クラフト



シャマン衣装／ナーナイ
A.P. ドンカーン、小野寺マリレイ作
© A.P. Donkan and Onodera Malire



木製皮なめし具／ウデヘ
W.X. ゲオンカ作



狩猟用帽子／ウデヘ
K.S. カレンチュガ作



講座「北方の機織り」 7/19 (日) 10:00-11:30

講師 佐々木史郎氏 (国立民族学博物館)

特別展解説会 7/19 (日) 11:30-12:00 講師 佐々木史郎氏

講座「アムール流域・ナーナイの文化」 9/19 (土) 13:30-15:00

講師 A.P. ドンカーン氏、小野寺マリレイ氏 (芸術家)

講習会「ナーナイ文化のワークショップ」 9/20 (日) 13:30-16:30

講師 A.P. ドンカーン氏、小野寺マリレイ氏



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1
(天都山・道立オホーツク公園)

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

<http://hoppohm.org>